

慈恵園だより

第21号

■発行所■
 芦別市旭町28番地
 特別養護老人ホーム
 芦別慈恵園
 ■発行責任者■
 皆木辰吉
 ■印刷所■
 (有)ワタナベ企画いんさつ

3月1日オープン!!

芦別慈恵園訪問介護サービス



▲ 訪問介護サービス発足式 ▲



▲ 大下サービス提供
責任者から心構えの言葉



▲ 調理実習中 ▲

おいそうですね!! ▶



**訪問介護事業を
始めます!**

芦別慈恵園では、新規事業として、三月一日にオープンする芦別慈恵園訪問介護サービスの開設準備を進めています。

介護保険制度の在宅重視の方向性や、市民のニーズ、施設の将来像を検討する中で、高齢者の需要が多いこと、施設のマンパワーを市民に還元できるとの判断から開設に踏み切ることといたしました。

現在は4名のスタッフが中心となり、基本的な介護はもちろん、生活援助などについてもご利用者のニーズにあったケアを実施することができるよう研修を行なっています。

ご利用者の皆様が、住みなれた地域でその人らしく自立した生活を続けていけるよう、安心な介護を、笑顔とともにお届けいたします。

ご期待に沿えるよう、スタッフ一同頑張りますので、どうかお気軽にご相談下さい。

栄養ケア・マネジメントが始まりました

多職種協働の取り組みで

昨年十月の介護保険制度の改定で栄養ケア・マネジメントが盛り込まれました。

栄養ケア・マネジメントとは、高齢者の低栄養状態の予防改善には栄養・食事サービスが基本であると位置づけられたものです。まず個人ごとに栄養スクリーニングを行い、個人のリスク度を調べます。それをもとに栄養ケア計画を立案し、他職種が協働で、適切な栄養管理や定期評価を行ないながら、ご利用者のいきいきとした生活支援のために実施するものです。

組んできました。ケアマネージャーも栄養ケア計画に積極的に取り組んでいるのでスムーズに実践することが出来ています。

栄養改善計画としては、脱水対策、便秘対策、じよくそう予防を中心に、個別の状態に合わせた栄養ケア・マネジメントを実施しています。

①脱水対策は、個人の目標水分量を設定し、ティータイムや手作りゼリーで摂取量の確保に気配りを行ないます。

②便秘対策として、排泄状況を確認し、オリゴ糖ゼリーや腹部マッサージなどにより自然排便を促します。

③じよくそう対策としては、プロテインの提供、高栄養食の補給などにより、完治までの期間が短縮しています。

また、低栄養予防として、複式献立、ユニット食、フロアクッキ

ングなどで、ご利用者の希望や本音を引き出しながら、喫食率の向上を図っています。行事食が食べられない方には、お粥で見た目が普通食と同じ様に調理し、楽しんで食べていただけるよう工夫をしています。

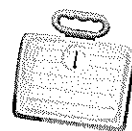
これらの実施により、入院者の減少が見られ、ご利用者の健康維持につながっています。

栄養ケア計画は十八項目をチェックし「栄養改善でここまで」と目標設定をして作成します。ご家族にもお知らせすることで、要望やご利用者の嗜好などの情報を増やすことができ、個別対応がより充実しています。

今後、「口からおいしく食べる事」を主眼として、ご利用者の体維持と健康管理に努め、重度化しないように栄養ケア・マネジメントを実施していきます。

【栄養ケアチェック項目】

- ① 要介護度
- ② 身長
- ③ 体重
- ④ アルブミン値
- ⑤ B M I
- ⑥ 食事形態
- ⑦ ティータイム(水分補給)
- ⑧ 水分目標と量チェック
- ⑨ 食事量チェック
- ⑩ C Z の提供(低栄養)
- ⑪ カルパワーの提供
(骨密度低下)
- ⑫ 流動食の提供(低栄養)
- ⑬ フルーツの提供
(水分と栄養)
- ⑭ アイスクリームの提供
(水分と栄養)
- ⑮ オリゴ糖の提供
(排便・整腸の為)
- ⑯ お茶ゼリーの提供
(水分補給とむせ防止)
- ⑰ 食べ方や個別の食事時間等
- ⑱ 飲み込み状態の確認
(水のみテスト等)



訪問介護事業所開設

芦別慈恵園では新事業として、三月一日より、訪問介護サービスを開始いたします。

地域の皆様が毎日の生活の中で、身の回りの事や家事をするのが難しくなった時、一人暮らしで外出が困難になってきた時、その他、心配事があり相談相手が欲しい時など、ヘルパーがお宅を訪問して、皆様が安心して生活できるようにお手伝いさせていただきます。

ご利用いただける方は、要介護認定で、要支援あるいは要介護1〜5の認定を受けた方です。

◆事業方針

- (一) 地域で生活するご利用者が、その人らしく自立した生活を続けていけるように支援する。
- (二) 利用者の意向を尊重し、安全・安心な介護を心がける
- (三) 各関係機関と情報の共有化を図り、綿密な連携をとる。

◆サービス内容

◎生活援助サービス

洗濯・掃除・買物・調理等

◎身体介護サービス

食事介助・排泄介助・入浴

介助・清潔の援助・移動介

助等

また、介護保険外のサービスも一部行いますのでご相談下さい。

◆お申込み・詳細は

担当のケアマネージャーか、

慈恵園ケアプラン相談センター

(電話 2412200) へどうぞ

芦別慈恵園訪問介護事業所

電話 2312100

(もみじの家内)

サービス提供責任者 大下美由紀

ヘルパー 木村千鶴子

ヘルパー 池田 養江

ヘルパー 小松はるみ

在宅介護支援センター休止のご挨拶



相談員 大下美由紀

ありがとうございます ございました

地域の皆様、日頃は大変お世話になっております。

新しい年を迎え、芦別慈恵園在宅介護支援センターも満四年となりました。しかしながら今年度の介護保険の改正により、地域包括支援センターへの移行がはかれる事となったため、在宅介護支援センターは二月二十八日をもって休止とさせていただきます。

この四年間を振り返ってみますと、設立当初は、緊張のあまり、訪問時の会話もまともにできずご迷惑をおかけしてしまいました。でも皆様から暖かい言葉をかけていただき今日まで続けて来られました。本当に地域の皆様のおかげと感謝しています。

また昨年度からは、いつまでも健康で自立した在宅生活を送っていただきたいとの思いから、地域に向いて、介護予防教室を実施してまいりました。地域の皆様と密着した形で開催することができました。

この介護予防教室は継続して行く予定ですので今後もよろしく願います。

ケアプラン相談センターのご案内

芦別市も高齢者の方が多くなり、何らかの介護を必要とする方も増えていきます。当相談センターでは、介護に関する相談を受けています。どんなサービスがあるのか、入浴が出来なくなった、交流がしたい、家事が出来ず心配、など様々な相談に応じます。介護保険を利用したサービスを適切に活用し、できるだけ自立した生活を送れるように調整いたします。当相談センターのケアマネージャーが市内のどこへでも訪問し相談に応じ計画案を提示いたします。親切・迅速・丁寧をモットーに対応いたしますのでどうぞ宜しくお願い致します。

(電話 2412200)

もみじの家

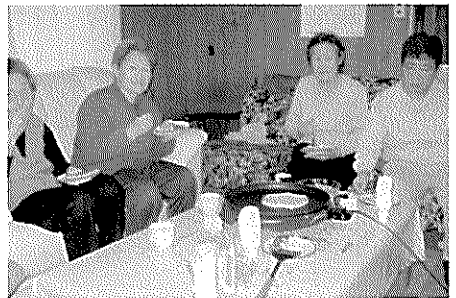
もみじの家では、ご利用者の皆様に食事の時間をより楽しく過ごして頂けたらと考え複式献立を行っています。普段は本体である慈恵園の方で調理された食事を運搬しているのですが、複式献立の時は、下準備から調理まで全てもみじの家で行います。

11月はカレーライス、12月はサーモン散らし、1月は寄せ鍋を作りました。緊張する職員をよそに、ご利用者は活き活きとした表情でキッチンに立ち、巧みな包丁さばきを披露して下さいています。料理の合間には、各家庭での思い出話や味付け、調理方法に花が咲き大盛りあがりです。

寄せ鍋の時には、大勢で鍋を囲んだのは久しぶりと大変喜んで頂く事ができました。

今後とも一ヶ月に一回、ご利用者の希望を伺いながら複式献立を実施する予定です。

次の献立が何になるのか、皆さん楽しみにして下さいね。



デイサービス

昨年11月より作業レクで行っていた『五重の塔』も完成しました。約3ヶ月かかって骨組みに割箸を切ったり削ったりで、1本づつ接着剤でこつこつと壁や屋根に付けて来ました。割箸をニツパで切る作業は男性の方に行って頂き、熱心に作業を進めていました。その結果が実を結び、今迄の作品の中でも立体模型としても一番の出来ばえではないでしょうか。新規の利用者の方も昨年末から2月迄で約10名増えました。ご利用された方は入浴・食事サービスだけでなく、他利用者の方と交流を持ち『来て良かった』との声にスタンプ一同心より喜んでいきます。

又個別リハビリや各種の体操も午前午後の2回実施し、全員のご利用者が参加され体を動かしております。

無料体験も実施しておりますので、通所前に是非体験して下さい。

お待ちしております。

お譲り下さい!!

お家で使わなくなったものをお譲り下さい

- ・ソファ・整理ダンス
- ・テーブル・着物・帯
- ・ゆかた・シーツ(無地)
- ・骨董品など飾り物

ご連絡は当園まで
(TEL.22-2566)



▲「昼食の盛付けです。どっちの皿に乗せるかな」

▲「旗体操！赤下げて白上げないで…」

声の広場

まま真っ直ぐ生きていね。
◎今年も皆様にとつて良い年でありませう。

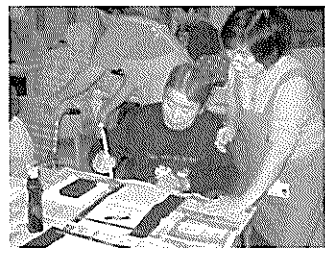
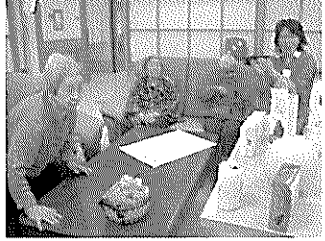
●元旦の様子です●

「いいなふれあいの正月いいかも
2006宝引き風福袋当てゲーム」

◆若い頃は仕事をすることが楽しみでした。戦争中は旦那が徴兵されていましたが、田んぼをやって生活していました。旦那が戦争から戻ってきたからは赤平の炭鉱で働きました。ここに来てから腰がやまなくなり、楽になっただけでも幸せです。園での初めてのお正月はまずまず楽しく過ごせました。これからは何か趣味を見つげたいと思っています。

◆お正月はユニットで美味しいものを食べて、皆さんとゲームをして楽しく過ごることができました。体が動かないことでイライラすることもありますが、退屈しないように何かやることがないかと捜しています。若い頃は編み物をしていたので、これから少しでも出来ればと思っています。

◆お正月は園で温かく、楽しく過ごしました。ビンゴゲームでクマの縫いぐるみやお花が当たってうれしかったですよ。気の優しいママさん(主任ケアワーカー)が居てくれるので安心です。今年はこの



「たんぽぽ草ソフト新年ゲーム大会」
今年のゲーム大会は「誰が一番遠くまで投げられるかボール転がし大会」でした。
・ピンをまっすぐ見つけ、真剣そのもの。終わった後はおいしく甘酒を2杯いただきました。

「ひまわりソフト」
甘酒を飲んでゆったりとお正月
かるたとりや、手拍子に合わせ一緒に歌をつたって笑い声が響きました。届いた年賀状を眺めながら、甘酒をおいしくいただきました。
ゲームの後ではソファーに座ってお茶を飲みながら思い出話しにも花が咲きました。

・宝引きのたびに「何番だー」という声が響きました。
・演歌を聴きながら甘酒を飲んでうっとりです。
・宝引きは最下位でしたが、好きなハンカチが当たり満足でした！

「やすらぎ新春福笑い大会」
じゃんけんで勝った方が負けた方の顔にシールを貼ります。どんなお顔をにたてでしょう！
・顔にシールを貼られて大笑い！
・シールを3枚貼られて「なーにさあ」
・皆さん素敵なお顔になったと喜んでいました。

きました。
・会に参加しませんかの声がけに気合のお化粧！どんな投げ方が良いか、上から下から投げ分けて楽しみました。
・「投げられないよ」とおっしゃっていましたが、一緒にボールを投げて楽しめました。職員の間にも肩を振るわせて笑いました。

ご厚意ありがとうございました
ごさいました

平成十七年十月十八年一月 敬称略



▽寄付金

(旭川市) 鈴木 勲

(北広島市) 坂本義信

▽寄付物品

(芦別市) 大橋敏子、斉藤栄一

(旭川市) 中川スミエ

(北広島市) 坂本義信

▽ボランティア・訪問団体

ともしび会、ボランティアはまなす、どんぐりの会、ボランティアふきのとう、山下チエ子、芦別市老人クラブ連合会、ミニ琴芦別サークル、芦別みどり幼稚園



どこの「サンタさん」かな？



プモみの木と一緒に
記念写真……。

散らし寿司、美味しそうですよ？

ボランティアスクール

ボランティア 募集中

ご利用者の話し相手、
散歩やゲームなど
一緒に楽しんで下さる
方を募集しています。
お気軽にお申込下さい。
お申込は芦別慈恵園
☎ 22-2566 まで



恒例のほくらゲーム！



風船バレーに挑戦



◇今年、インフルエンザが大流行ですが、私も何年か振りに熱が出ました。普段元気になっていると悪い所があると気が寂しくなりますね。(K)
◇今年は大雪の冬となりました。皆さん風邪などひいていませんか。訪問介護もいよいよ三月一日開設です。笑顔で親しまれる介護を目指します。(O)
◇新年早々、めでたく当った海外旅行も身重の妻を置いて行く勇気もなく、新年会の景品に…。運だけは離れないで！(F)
◇ホームページのスタッフコラムが好評です。職員の「つぶやき」は涙あり、笑いありで、とっても楽しめます。(I)
ぜひ、ご覧下さい。

編集後記

● デイサービスセンター 「割箸で製作中の五重の塔をバックに」

